



平成27年 5月13日

各 位

会社名 西松建設株式会社
 代表者名 代表取締役社長 近藤 晴貞
 (コード 1820 東証第一部)
 問合せ先 執行役員社長室長 渋井 修
 (TEL 03 - 3502 - 7601)

『持続的な発展と変革に向けて～中期経営計画2017』
 策定のお知らせ

当社は、2015年度を初年度とする『持続的な発展と変革に向けて～中期経営計画2017(2015年度～2017年度)』を策定いたしましたので、お知らせいたします。

2014年度を最終年度とする中期経営計画2014では、2012～2014年度を「成長期」と位置づけ、様々な施策を展開してまいりました。この3年間は外部環境にも恵まれ、目標数値を前倒しで達成することができ、施策についても順調に展開することができました。

しかし、我々建設業を取り巻く環境においては、2020年東京五輪以降の不透明感もあり、持続的に発展するためには、従来の総合建設会社の枠組みに留まることなく、新たな価値を創造する企業へ変革していくことが必要不可欠です。

このような認識のもと、2015～2017年度は、将来にわたって持続的に発展し続けるために、新たな取組みに踏み出し展開を図る始動時期として「発展・変革Ⅰ期」として位置づけ、「持続的な発展に向けた人財の育成と活用」「コア事業である建設事業及び開発・不動産事業における高収益企業基盤の確立」「持続的な発展を目指した新たな事業展開への取組み」を基本方針とする『持続的な発展と変革に向けて～中期経営計画2017(2015年度～2017年度)』を策定いたしました。本計画を着実に遂行することにより、将来にわたる持続的な成長へとつなげてまいります。

今後、全役職員一丸となって、当社の強みである“現場力”(きめ細やかな施工管理能力と、自ら問題を発見し自ら解決する力)に磨きをかけ、本計画の達成を目指すとともに、企業価値の向上に努めてまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最終年度計画値【連結】

	2014年度 実績	2017年度 計画
建設事業受注高	3,458億円	3,300億円
売上高	3,429億円	3,450億円
売上総利益	227億円	285億円
営業利益	87億円	125億円
経常利益	99億円	125億円
R O E	6.5%	7.0%以上
配当性向	30.0%	30.0%以上

詳細につきましては、別紙資料をご参照下さい。

以上

～持続的な発展と変革に向けて～

中期経営計画2017

2015年度～2017年度

2015年 5月13日

未来を創る現場力



目次

- 目指すべき企業像 …… 3
- 事業環境認識 …… 4
- 経営方針及び経営目標 …… 5
- 中計2017基本方針 …… 6
- Win-Winの関係構築に向けて …… 7
- 重点戦略・事業戦略 …… 8

目指すべき企業像

～ 企業理念 ～

培ってきた技術と経験を活かし、
価値ある建造物とサービスを社会に提供することで、
安心して暮らせる持続可能な社会・環境づくりに貢献する。

持続的な成長が必要

すべてのステークホルダーとのWin-Winの関係構築

【目指すべき企業像】

- ★揺るぎない信頼の獲得と、魅力ある企業を目指す。
- ★新たな価値を創造し、社会の課題を共に解決できる企業を目指す。

事業環境認識

建設投資

- 国土のグランドデザイン 2050
- アベノミクスの地方創生
- 民間活力を活用した公共サービス分野の促進
- インフラ老朽化
- 東京五輪以降の不透明感

建設業就業者

- 人口減少に伴う労働者不足
- 担い手三法の制定

地球環境問題

- 環境危機の深刻化
- 環境意識・価値観の向上

海外動向

- グローバル化の加速
- アジアは日系企業の重要拠点

経営改革

- 企業価値経営への転換
- コーポレートガバナンスの強化

経営方針及び経営目標

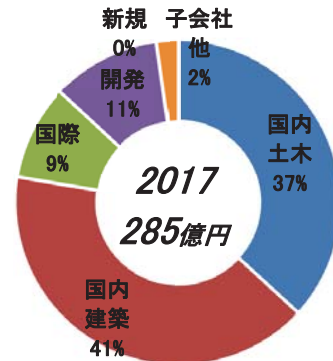
売上規模：安定的な人的資源の獲得と売上規模の緩やかな拡大
 利益：効率性・利益率を追求した高収益基盤の確立

【連結】

		2014 実績		2017 計画	
建設事業受注高		3,458		3,300	
売上高	建設事業	3,338		3,330	
	不動産事業等	91		120	
	計	3,429		3,450	
売上 総利益	建設事業	197	5.9%	248	7.4%
	不動産事業等	30	33.2%	37	30.8%
	計	227	6.6%	285	8.3%
営業利益		87	2.5%	125	3.6%
経常利益		99	2.9%	125	3.6%

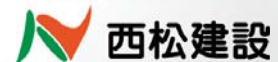
(単位：億円)

売上総利益



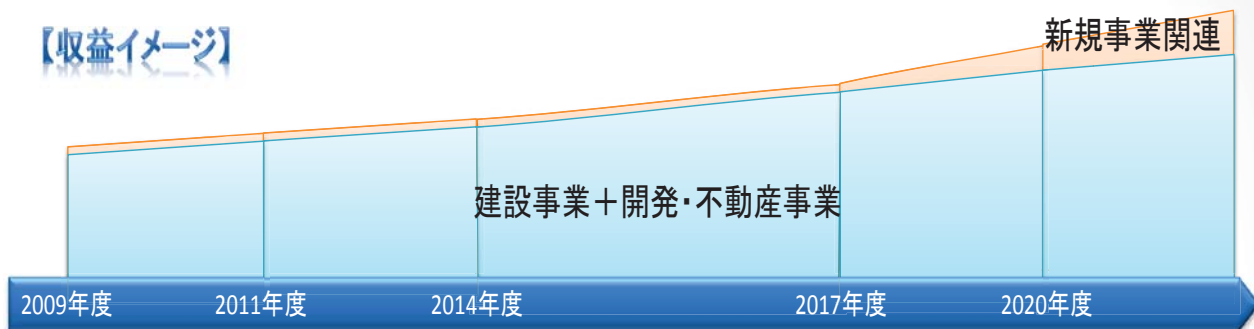
- ◆ 売上総利益率 1.7ポイントアップ
- ◆ ROE 7%以上
- ◆ 配当性向 30%以上

未来を創る現場力



中計2017基本方針

【収益イメージ】



新生西松

過去
(基礎固め期)

- ・信頼回復への取り組み
- ・事業規模に応じた組織体制の確立
- ・収益力、受注力の強化

現在
(成長期)

- ・安定的収益基盤の構築 (顧客、組織、人材)
- ・新たな事業の柱の確立 (海外、開発不動産)
- ・計画～維持管理に至る一貫貫事業モデルの確立

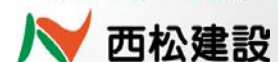
3年後
(発展・変革Ⅰ期)

- ・持続的発展に向けた人財の育成と活用
- ・高収益企業基盤の確立(コア事業)
- ・持続的な発展を目指した新たな事業展開への取り組み

将来
(発展・変革Ⅱ期)

- ・グローバル化に適応した事業展開
- ・高い信頼に基づいた建設サービスの提供(西松ブランド)
- ・多様な収益部門による持続的発展企業へ

未来を創る現場力



Win-Winの関係構築に向けて

お客様

“さすが西松！任せて安心！”という揺るぎない信頼の獲得

- ◆ 最高品質のサービスの提供
- ◆ 新しいサービスや技術開発の展開

地域
社会

“感謝と交流”を理念とした豊かな共生社会の実現

- ◆ 業界最高水準の環境経営
- ◆ 地域防災拠点としての役割提供

株主
投資家

戦略的なIR活動による“西松ファン”の拡大

- ◆ 安定的な利益還元
- ◆ 対話の充実による「協創」関係構築

社員

多様な“人財”が継続的に活躍できる環境整備

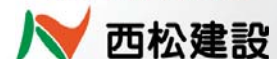
- ◆ 魅力的な職場づくり
- ◆ 女性等多様な人財の活躍推進

協力
会社

強固なサプライチェーンの構築による“Win-Win”

- ◆ 西松建設協力会（N-NET）による連携強化

未来を創る現場力



7

持続的成長に向けた重点戦略

【コア事業・基盤強化戦略】

「西松ブランド」の確立に向けて、
お客様からの揺るぎない信頼を獲得する

ACTION 4

【事業成長戦略】

外部環境の変動にも柔軟に対応できる
事業構成への変革を図る

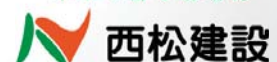
CHALLENGE 3

未来を創る現場力

- ◆ 建設事業及び開発・不動産事業における高収益企業基盤の確立
- ◆ ステークホルダーとのWin-Winの関係強化
- ◆ 業界最高水準の環境経営の推進
- ◆ 人財育成を含めた社内基盤の強化

- ◆ インフラビジネス等の新たな事業展開への取組み
- ◆ 長期的視野に立った技術研究開発の強化
- ◆ 事業化に向けたイノベーションの促進

未来を創る現場力



8

土木事業戦略（国内）

【連結】受注高1000億円 売上高1000億円
売上総利益105億円（10.5%）

- ◆高収益体制を確立するための基盤作り
 - 総合評価方式案件の更なる取組み強化
 - 災害復興事業への継続的な注力
 - 若手技術者の育成による組織と個の強化
- ◆将来の土木事業の推進力となる取組み
 - 民間顧客への営業の深度化
 - リニューアル事業（PPP・PFI事業を含む）の取組み推進
 - 原子力バックエンド事業など新技術の開発

西松ブランドと高収益体質を確立し、
持続的に発展し続ける魅力ある事業へ

建築事業戦略（国内）

【連結】受注高1800億円 売上高1800億円
売上総利益116億円（6.4%）

- ◆安定的収益の継続確保に向けた基盤固め
 - 組織営業によるお客様ニーズの深掘り
 - 現場力（＝自らが問題を発見し、解決する力）の強化
 - 技術面の施工管理フォロー体制の強化
- ◆競争優位分野への集中
 - 設計施工技術力の強化による得意分野の創造
 - 建物の生涯を通じたお客様とのパートナーシップの構築

お客様目線でのものづくりによる、信頼ある事業へ

国際事業戦略

【連結】受注高500億円 売上高530億円
売上総利益27億円（5.1%）

- ◆ 安定的利益の確保と海外マネジメント能力の向上
 - リスクマネジメントのレベルアップ
 - 海外組織の強化とローカル職員の育成
- ◆ 新しいビジネスモデルへの挑戦
 - インフラ関連事業（PPP/PFI案件含む）の推進
 - 海外保有資産の有効利用
 - ラオス・カンボジアへの進出（メコン地域）

将来を見据え、事業基盤を固めるとともに、
継続的に安定した利益を確保する事業へ

開発・不動産事業戦略

【連結】売上高120億円 投資計画350億円（3カ年）
売上総利益37億円（30.8%）

- ◆ 事業創出力強化
 - 開発事業創出による魅力的なまちづくりの推進
 - 不動産ワンストップソリューションサービスの積極展開
 - お客様の保有不動産を活かした事業化の提案
- ◆ 収益・資産構造増強
 - 収益不動産への投資と不動産バリューアップ事業の展開
 - 高収益を生み出す資産ポートフォリオの構築

付加価値の高いソリューションを提供できる事業へ

ACTION 環境経営

環境経営先進企業としてコーポレートブランド化を目指す

- ◆環境経営推進体制の強化
 - 安全環境品質本部の新設による環境経営推進強化
 - 西松グループ一体となった取組み体制の構築
- ◆環境経営先進企業へ向けた実践的な環境活動
 - 低炭素社会の形成(カーボンフリーの追求)
 - 生物多様性保全活動の実践
 - 循環型社会の形成(廃棄物ゼロエミッションの追求)
 - 環境ソリューションの積極推進

持続可能な社会の実現に向けた、
「健全な地球環境」の次世代への継承

CHALLENGE 事業創生

2020年度以降にはコア事業を補う収益事業に育てる

- ◆コア事業周辺への多角化事業展開
 - インフラビジネスへの積極的な取組み推進と投資拡大
 - 産官学との共同研究開発を促進し、新規事業技術の創出
- ◆新領域事業への参入
 - 建設投資動向に左右されない新たな事業の発掘
 - 異業種とのコラボレーションの推進
 - LED農園プロジェクトの展開

社会的な課題の解消に貢献する、
新たな事業やサービスの展開

未来を創る現場力



西松建設

【お問合せ先】

経営企画部

TEL : 03-3502-7601 FAX : 03-3502-7593

本資料に記載されております将来の計画、戦略、業績予想等に関しましては、
本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、
実際の業績は今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性がございます。